

令和6年度の主な取組事例

1. 広島県の取組状況

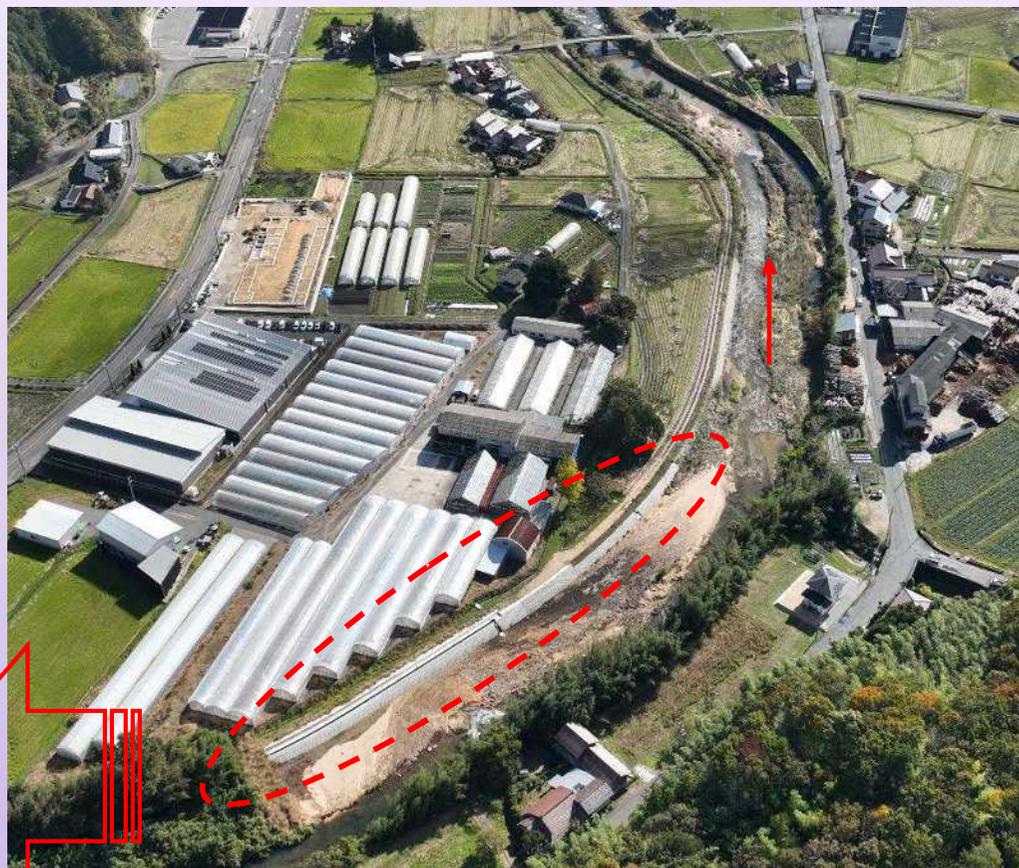
① 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

県が管理する一級河川(指定区間)及び二級河川について、洪水による浸水被害を防止するため、「ひろしま川づくり実施計画2021」に基づき、洪水・高潮による社会経済被害の最小化に向けた計画的な河川整備を実施

(一) 丁川(安芸太田町 加計)



(一) 志路原川(北広島町 春木)



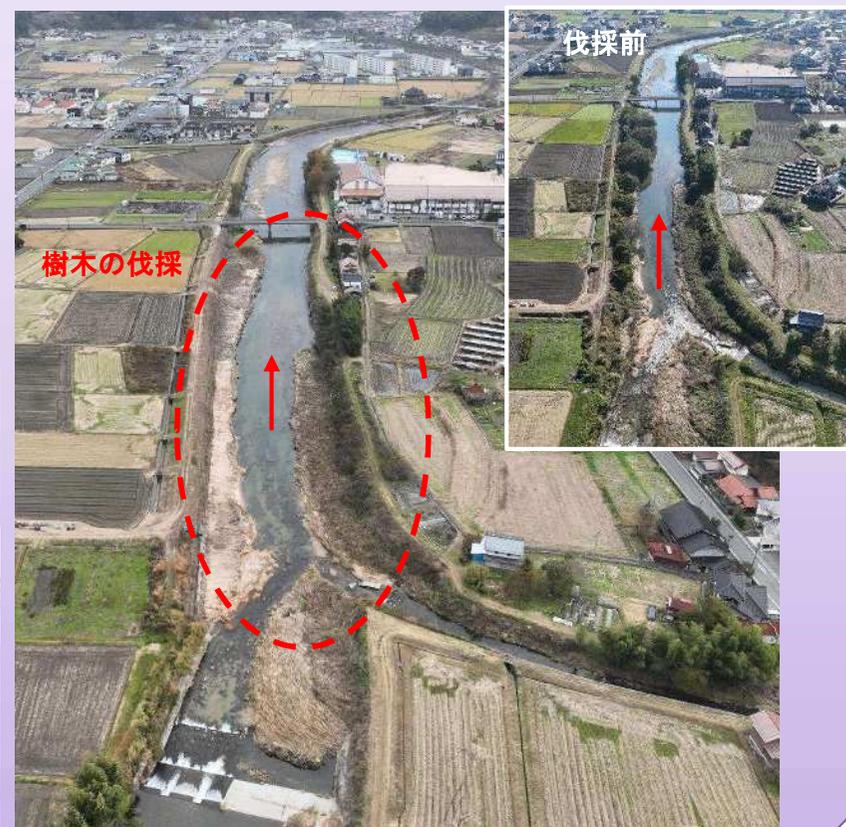
① 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

河道が本来持っている流下能力を確保・維持し、浸水被害を軽減するため、「河川内の堆積土等除去計画」に基づき、一定規模の洪水により河川背後地において床上浸水被害が発生するおそれのある箇所などの浚渫工事などを優先して実施

(一) 江の川(北広島町 大朝)



(一) 志路原川(北広島町 春木・後有田)



③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、**全ての市町を対象に、「まるごとまちごとハザードマップ」**に取り組んでおり、**令和6年度は3市町の役場や小・中学校、公民館などの公共施設へ標識を設置**しました。引き続き、市町と連携しながら、標識の設置を進めます。

(設置例) 呉中央中学校



(令和6年度の設置状況)

市 町	設置数
呉市	19
江田島市	1
大崎上島町	1
合 計	21

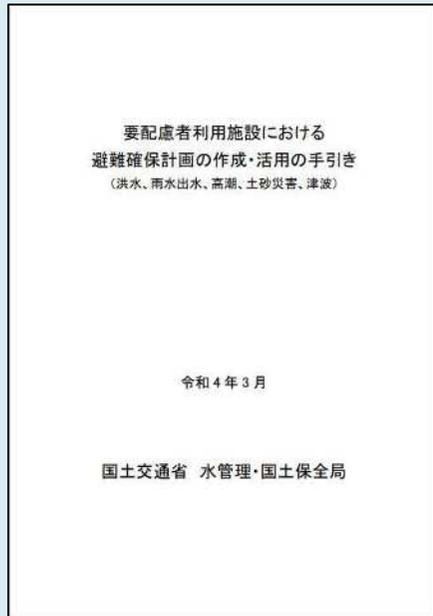
洪水ハザードマップの内容を、それぞれの地域で具体的に臨場感をもって認識し、避難の実効性を高める。

④ 避難確保計画の作成・確認

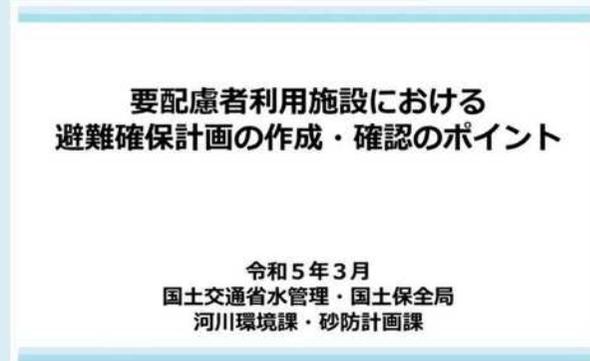
要配慮者利用施設における「避難確保計画」の作成の義務化を踏まえ、各施設における速やかな避難確保計画の作成のための支援を行いました。

○県内要配慮者利用施設（洪水）**3,248施設**のうち、計画作成済施設は**3,058施設**（約**94.2%**）
※R7.3末現在

作成に向けた資料



○YouTubeでナレーション付き動画も公開



【国土交通省 YouTube】



↑eラーニングテキストでは、水害リスク、作成手順など避難確保計画を的確に作成できるよう解説を充実。

【関連ホームページ】（国土交通省）

- ・避難確保計画の作成・活用の手続き
- ・記載様式
- ・チェックリスト 等

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>



- ・避難確保に関するeラーニング教材【動画】



<https://youtu.be/VtMlyW9Yow4>

- ・避難確保計画の作成・活用のポイント【動画】



<https://youtu.be/Va400F33ucs>

水害ハザードマップの周知

洪水ポータルひろしま



- 地理情報システム（Web-GIS）に各種情報を表示しています。水系・河川ごとに「浸水想定区域図」や「浸水継続時間」、「家屋倒壊等」の図面を公表しています。

防災情報の周知

- SNSを通じて防災情報を発信し、県民に向けた防災意識の更なる波及効果を図ります。



広島県防災 @HiroshimaBousai

【広島市南区、江田島市に土砂災害警戒情報発表】

崖の近くや谷の出口など、土砂災害の発生しやすい地区（土砂災害警戒区域等）にお住まいの方は、市町から発令される避難情報に留意し、安全な場所への速やかな避難を心掛けてください。

**広島市南区、江田島市
土砂災害警戒情報**

2023年07月09日 0:16 · 2.2万 表示

避難行動等の周知

- 災害から命を守るために必要な行動の習得を通じ、災害時の「死者ゼロ」を目指すとともに、未来の防災リーダーの育成を目標として、出前講座を開催しました。

（防災出前講座実施件数）

年度	小学校	中学校等	合計
R3	12校	2校	14校
R4	110校※	-	110校
R5	127校※	-	127校
R6	155校※	3校※	158校

※ R4年度から「ひろしま防災出前講座」として実施。



⑦避難行動に資する基盤の整備

平成30年7月などの豪雨により浸水被害が発生した河川や、人口・資産の集中する河川(水位周知河川等)を中心に、令和6年度には57箇所を増設し、現在は180箇所で開催しています。(CCTVカメラ21ヶ所を含む)
令和7年度以降も更なる防災情報の拡充に向け、増設する予定です。

簡易型河川監視カメラの設置

- 国土交通省ホームページ「川の防災情報」にて公開しています。
※CCTVカメラにおいては、「広島県河川防災情報システム」にて公開しています。
- 引き続き、住民が河川防災情報を入手しやすい環境の整備に努めます。

三篠川(広島市安佐北区白木町三田)

【設置例】



【画像公開例】



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

②河川管理者等による堤防の点検・監視の実施

堤防について、河川管理者が「堤防区分の評価」と「河川背後地の社会的評価」による重要度を踏まえた区間区分を設定し、点検を実施
 堤防の状態確認や防災情報の共有のため、県と市町の合同点検を実施

廿日市支所管内点検状況



安芸太田支所管内点検状況



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

毎年出水期前に広島県主催の水防工法講習会を行っています。

【令和6年度水防工法講習会】

- 実施時期 : 令和6年5月
- 場 所 : 沼田川河川防災ステーション
- 参加者 : 国、県、市町の職員

～訓練の様子～

・実技演習(積土のう工法)



・排水ポンプ車実演



2. 各構成機関の取組状況 **(西部建設事務所管内【西ブロック】)**

広島市

(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

佐伯区

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数	訓練内容	時期
佐伯区 水防訓練	佐伯区役所 佐伯消防署	佐伯区役所 佐伯消防署 佐伯消防団 佐伯警察署 各学区自主防 災会連合会	184名	防災講話(要配慮者の 搬送に伴う車いす操作 研修等) 土のう作成 土のう工法 人命検索救助訓練	R6.6.16(日)



大竹市

- ③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知
- ④避難計画の作成・確認

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図を基にした水害ハザードマップを作成し、印刷物の配布、ホームページへの掲載等により住民等へ周知
想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図に基づき、市町の避難計画を見直し住民等へ周知



大竹市役所窓口配布用チラシ



自主防災組織に
使用方法の解説を実施中
(研修会の例)

- 平成29年度 webハザードマップに移行 (紙版は廃止)
- 令和3年度 県管理河川(玖島川)の洪水ハザードマップを公開開始

【令和6年度の取組】

- 窓口でチラシ配布中
- 出前講座でハザードマップ使用方法の解説を実施中
- webハザードマップ(洪水) 使用方法をHPで公開中

⑧防災教育や防災知識の普及

小学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
6	2	—	1

マイ・タイムライン等の作成支援

説明会等	参加人数	その他
防災セミナー	84	
大竹小学校(出前講座)	114	2回実施
防災リーダー研修	26	
ステップアップ訓練 個別研修	57	



①水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集, 自主防災組織・企業等の参画を促すための広報を実施

The screenshot shows the Otake City website's 'Fire Volunteer Recruitment' page. The page features a navigation menu at the top with categories like Home, Lifestyle, Education, Health, Business, and City. Below the navigation, there's a breadcrumb trail: Home > Organization > Fire > Fire Department > Fire Volunteer Recruitment. The main content area is titled '消防団員募集' (Fire Volunteer Recruitment) and includes sections for '消防団員とは' (What is a Fire Volunteer?), '消防団員の処遇' (Treatment of Fire Volunteers), and '消防団員のための制度' (System for Fire Volunteers). The '消防団員の処遇' section contains two tables: one for '団員の年額報酬' (Annual Salary of Members) and one for '出勤報酬' (Attendance Allowance). The annual salary table shows a fixed amount of 36,500 yen. The attendance allowance table shows rates for disaster response (4,000 yen for 5 hours or less, 8,000 yen for more than 5 hours) and training (3,500 yen per day). A '消防団' (Fire Volunteer Group) sidebar on the right includes a link to '申請書ダウンロード' (Download Application Form).

区分	報酬額(年額)
団員	36,500円

出勤内容	支給単位	報酬額
災害	1日当たり(5時間以下)	4,000円
災害	1日当たり(5時間超)	8,000円
養成・訓練等	1日当たり	3,500円

HPで消防(水防)団員の募集を実施中

甘日市市

- ③ 洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知
- ④ 避難計画の作成・確認

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図を基にした水害ハザードマップを作成し、印刷物の配布、ホームページへの掲載等により住民等へ周知
 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図に基づき、市町の避難計画を見直し住民等へ周知

STEP 2 準備する

非常持ち出し品

食糧や飲み物、救急用品など、できるだけ普段使用しているものを無理なく備蓄（ローリングストック）し、最低限必要な物資をリュックなどに入れ、玄関など簡単に持ち出せる場所に保管しておきましょう。



非常持ち出し品リスト

<input type="checkbox"/> 水・食品	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 洗面用具
<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 電池・モバイルバッテリー・充電器	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉
<input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット	<input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 衣類・下着	<input type="checkbox"/> 救急用品	<input type="checkbox"/> ペン・ノート
<input type="checkbox"/> レインウェア	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 貴重品
<input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴	<input type="checkbox"/> ブランケット	など
<input type="checkbox"/> 懐中電灯		

● 小さな子どもがいる家庭

- ミルク・哺乳瓶
- 離乳食
- 携帯カトラリー
- 紙おむつ・お尻ふき
- ネックライト
- 抱っこひも
- 子どもの靴
- 親子（母子）健康手帳

など

● 高齢者がいる家庭

- 大人用紙パンツ
- 吸水パッド
- 杖
- 補聴器
- 介護食
- 入れ歯・洗浄剤
- 老眼鏡
- 持病の薬・お薬手帳のコピー

など

● 女性

<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> サニタリーショーツ	<input type="checkbox"/> 防犯ブザー
<input type="checkbox"/> おりものシート	<input type="checkbox"/> 中身の見えるいごみ袋	など

風水害に今、備えよう

問い合わせ 危機管理課 0854-9702

災害から自分自身や大切な家族の命を守るためには、地域の災害リスクや避難する場所などを事前に確認し、準備しておくことが大切です。また、大雨が降っているときなど、災害発生の可能性が高まっている場合には、災害情報を収集し、迅速・的確な避難行動につなげましょう。

STEP 1 知る

ハザードマップで災害リスクを知る

まずは、自分が危険な場所にいるかを確認することが第一です。土砂災害や洪水・浸水が想定される範囲、指定避難場所などを示す各種ハザードマップにて、自宅周辺や地域の災害リスクを確認しましょう。

※最新の区域などは危機管理の各ポータルサイトから確認することができます。



出前トークで防災を学ぶ

職員や防災アドバイザーが皆さんの地域や学校に出向いて、災害への備えや災害時の行動に困ってしまわないよう、防災は「いつ」ではなく「いつもの防災」という視点で、災害に備えましょう。そのためのヒントが満載の出前トークです。

防災に関する出前トークの例

- ・地震対策と命を守る方法
- ・風水害対策と命を守る方法
- ・避難に関して（ハザードマップやタイムラインの活用方法）
- ・避難での防災、避難途中での防災
- ・子どもたちの防災
- ・ペットを守る

など

ラジオ・動画で意識を高める

● ラジオ番組「みんなの防災パイブル」

平時から、FMはつかわいちのラジオ番組「みんなの防災パイブル」にて、危機管理課の防災相談員が防災に関する最新情報や季節の題材、各家庭での心構えなどを発信しています。



● みんなの防災パイブル

- 放送局 FMはつかわいち 57.6MHz
- 放送日時 毎月第1、3、5木曜日 14時5分から15分程度（内容は変更になる場合があります）
- テーマ例
 - ・過去未演習の記憶
 - ・子どもたちの防災チャレンジ
 - ・最先での危機管理
 - ・学校の避難訓練 など

● 防災啓発動画

災害に突く防災動画を市ホームページや市公式YouTubeチャンネルなどで公開しています。



⑧ 防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
R6	5	6	14

ひろしまマイ・タイムラインの作成支援

説明会等	参加人数
学校授業	1176



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

甘日市市

① 水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集、自主防災組織・企業等の参画を促すための広報を実施



④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数	訓練内容	時期
水防訓練	消防署 消防団	消防職員 消防団員 支所職員	280名	土のう作り 改良積み土のう工法 シート張り工法 ロープ結索	5月～6月

江田島市

⑧ 防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
6	3	—	2

ひろしまマイ・タイムラインの作成支援

説明会等	参加人数
小学校	114人
地域防災タイムライン	850人



30年7月豪雨時に溢水した河川確認状況



地域防災タイムライン



マイ・タイムライン



④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数	訓練内容	時期
水防活動訓練	消防団	消防団員	169名	土のう作成 土のう積み工法	6月

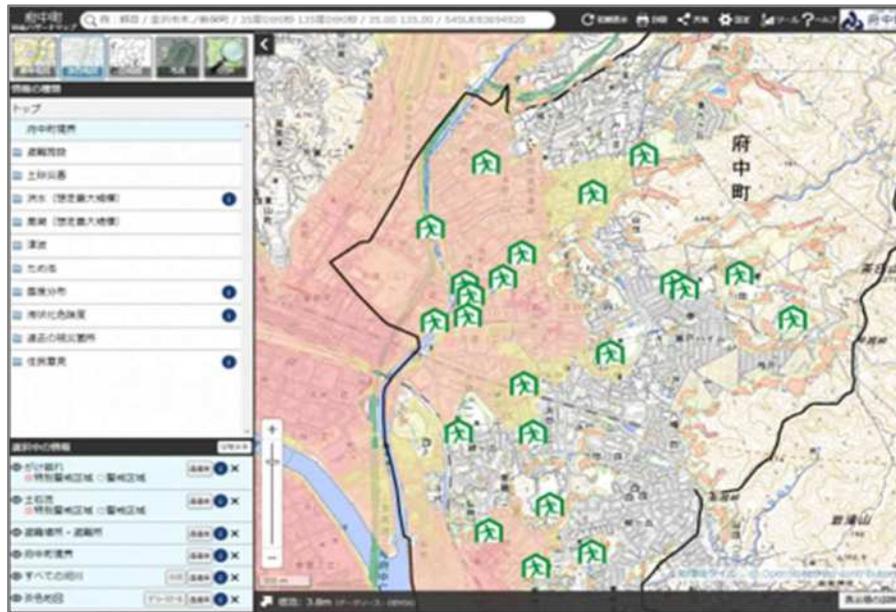


府 中 町

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図を基にした水害ハザードマップを作成し、ホームページへの掲載等により住民等へ周知

府中町WEBハザードマップ



広報ふちゅう掲載記事

Step 1 危険箇所を確認しましょう！

適切な避難行動をとるためには、ハザードマップを活用し、地域の危険な場所、避難経路や避難場所を事前に確認しておくことが大切です。

土砂災害や洪水などの危険箇所の情報は、『府中町Webハザードマップ』や『広島県防災Web』から確認できます。



府中町Webハザードマップ

府中町Webハザードマップでは、土砂災害、洪水などの災害の危険性がある場所や避難場所などを、Web地図に重ねて確認することができます。

パソコン版では、地図の範囲や必要な情報を自由に選択して印刷し、自分だけのハザードマップを作成することもできます。

お住まいの地域にどんな災害の危険があるか、あらかじめ確認しておきましょう。



広島県防災Web

各種災害の危険箇所、県内に発表された気象情報、河川の水位などの情報をスマートフォン、携帯電話からリアルタイムで見ることができます。



⑧ 防災教育や防災知識の普及

ハザードマップを活用した出前講座等を実施し、地域の災害リスクと避難行動について周知

小学校で出前講座実施



大雨のとき 避難行動確認シート 府中町危機管理監危機管理課 082-286-3243

災害の危険性を確認 [府中町Webハザードマップで調べよう](#)

土砂災害の危険性 <input type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし	洪水の危険性 <input type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし	5.0m~ 2階部分が浸水
自宅が安全な場所にある人も 備蓄品を確認するなど、 災害に備えましょう！	近くの川 () 浸水の深さ () m 自宅の2階以上へ避難 <input type="checkbox"/> できる ・ <input type="checkbox"/> できない	3.0~5.0m 1階部分が浸水
家裏での備え (府中町ホームページ)		0.5~3.0m 1階部分が浸水
		~0.5m 床下浸水

避難する場所

近くの避難場所 (例) 小学校、中学校など	安全な場所にある 知人や親戚の家	近くの安全な場所 (例) 自宅の上階(安全な場合)、 近所の高い建物など
避難に かかる時間 () 分	避難に かかる時間 () 分	避難に かかる時間 () 分

警戒レベル ○ で「危険な場所」から避難する

避難に時間がかかる人 警戒レベル3「高齢者等避難」で避難する
危険な場所にいる人 全員 警戒レベル4「避難指示」で避難する

避難情報の入手方法

テレビのデータ放送 (dボタン)	防災行政無線放送 の再確認 050- 5830-3527	府中町防災・安全安心 情報メール配信履歴	広島県防災Web
---------------------	---------------------------------------	-------------------------	----------

緊急連絡先

名前: _____ 電話番号: _____
名前: _____ 電話番号: _____

海 田 町

⑧ 防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
6	—	—	1

熊野町

⑧防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
R1	0	0	3
R2	1	0	6
R3	4	2	7
R4	10	3	4
R5	8	4	5
R6	6	2	8

熊野第一小学校の避難所体験学習
令和6年9月11日



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

熊野町

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施

毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数	訓練内容	時期
水防技術習得訓練	消防団 安芸消防署 熊野町	消防団員 安芸消防署 熊野町職員	約50人	土のう作り 土のう積み工法 シート張り工法 ロープ結索	5月



坂 町

① 水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集広報を実施

消防団員を募集しています

入団資格

- ・町内に居住または通勤する18歳以上の方
 - ・心身共に健康な方・やる気のある方
- ※男女ともに歓迎します！

入団までの流れ

電話かメールでお問い合わせください。
入団届を役場環境防災課へ提出していただきます。

問合せ 役場環境防災課危機管理室 ☎820-1540 ✉kikikanri@town.saka.lg.jp

消防団の主な活動

- ・出初式
- ・消防競技大会
- ・各種防火、防災訓練
- ・応急手当の普及活動
- ・広報、啓発活動 など

～坂町消防団の活動～

消防団では **応急手当指導員** を育成し消防吏員と共に **普通救命講習** を行っています。

救急車要請から到着まで
約10.3分(令和4年全国平均)



救急車が来るまでにできる事としてこれらを習得

- ・AEDの使用方法
- ・胸骨圧迫(心臓マッサージ)
- ・人工呼吸 など



令和6年1月
消防団員向け普通救命講習の様子

応急手当指導員(令和4年度・令和5年度資格取得者)



団長	車地 克典	副団長	豊岡 勤太郎
坂第1分団1部	北村 健太	坂第3分団	井下 和広
坂第3分団5部	松山 陸	坂第3分団6部	糸原 康生
横浜第1分団1部	児島 哲	横浜第3分団6部	平川 勝江
小屋浦分団	中野 大祐	小屋浦分団2部	横藤 康子

坂町広報「さか」への掲載による募集広報

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

消防団員による水防訓練等の実施

訓練名	主体	参加者	参加人数	訓練内容	時期
水防・地震防災訓練	消防団 安芸消防署	消防団員 安芸消防署	約50名	土嚢づくり 資機材の取扱	9月



安芸太田町

- ③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知
- ④避難計画の作成・確認

住民向けの新たな情報発信・防災ツールとして防災アプリケーションを開発利用。いつも身近に携帯、手軽にハザードマップや災害情報を確認し避難に活用できる。災害発生時には、登録された要支援者と要請を確認した支援者を結びつける、「マッチング機能」を搭載（※マッチング機能は令和7年度より実用予定）。

安芸太田町防災アプリ『防災もりみん』の開始

●携帯電話から確認できる防災用アプリケーションに搭載するマップ機能にハザードマップを表示・確認可能に。災害に備えた避難場所や避難経路の確認、避難計画の作成等に利用可能。その他、アプリ内で多種の防災情報（避難・天気・道路・水位・停電の各種情報、伝言板機能など）も確認でき、リアルタイムな避難行動に活用できる。



北 広 島 町

(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

北広島町

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

・自主防災会等の住民団体を対象とした防災教育の実施

実施日：令和6年6月9日～11月9日の計8回

実施内容：消防・防災について、防災の備え・近年の災害について等



・小中学生を対象とした防災教育の実施

実施日：令和6年6月12日 壬生小学校

実施内容：過去の被災に学ぶ防災教育、避難訓練等

災害にそなえて、みんなで学ぼう。

・避難訓練ではどんなことを考えて行動しましたか？



・水防工法・実践工法訓練の実施

実施日：令和6年6月16日

実施内容：水防工法、土のうづくり、警戒訓練など



・消防署員、消防団員及び町職員を対象とした 重機操作研修等

実施日：令和6年8月5日

実施内容：災害現場を想定した重機操作研修（解体用フォーク）

実施日：令和6年11月17日 午前、午後の計2回

実施内容：災害時を想定した重機操作（掘削、積み込み、解体）



太田川河川事務所

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

- 出水期に備えて防災体制に万全を期すため、令和6年5月10日に関係機関と連携した情報伝達訓練を実施。
- 広島市安佐南区とのWEBを活用したホットラインやドローンを活用した被災状況調査の訓練を行った。

- ・実施日：令和6年5月10日（金）
- ・実施場所：太田川河川事務所
- ・参加者：中国地方整備局、太田川河川事務所、広島市（安佐南区）、その他機関



WEBを活用したホットライン訓練
（広島市安佐南区、太田川河川事務所）



ドローンによる被災状況の調査及び情報共有訓練

2. 各構成機関の取組状況 **(西部建設事務所管内【東ブロック】)**

吳市

⑧ 防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況
(令和7年1月末現在)

年度	小学校	中学校	その他
R6	8	10	58

ひろしまマイ・タイムラインの作成支援

説明会等	参加人数
8	1,450



竹 原 市

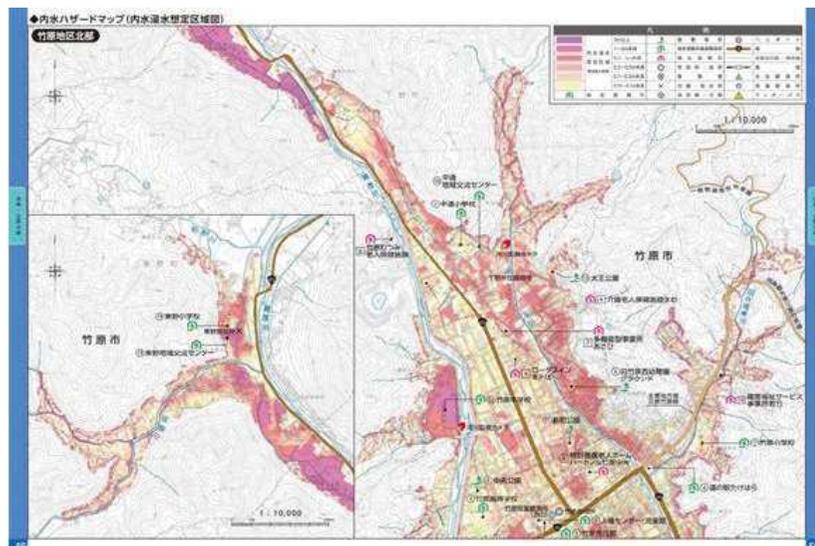
③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知 (令和6年6月更新)

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図を基にした水害ハザードマップを作成し、印刷物の配布、ホームページへの掲載等により住民等へ周知

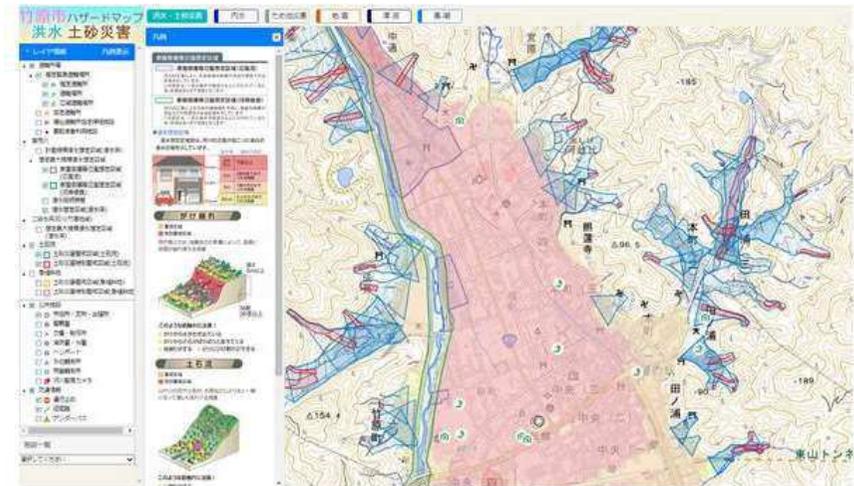
冊子版(全戸配布)



- ・土砂災害警戒区域の見直し反映
- ・洪水浸水想定区域図の更新(想定最大)
- ・中小河川(水位周知区間を除く)の洪水浸水想定区域図(想定最大)の掲載
- ・内水浸水想定区域図の掲載
- ・高潮浸水想定区域図の更新(想定最大)



Web版(ホームページ等で公開)



④ 避難計画の作成・確認

関係機関と連携して、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・避難訓練の実施を支援

避難確保計画作成から避難訓練までの流れ



避難確保計画作成に係る説明会

・避難確保計画作成支援



避難確保計画の作成・確認



避難確保計画に基づく避難訓練

・避難訓練についての助言・指導

⑧防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座，避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	中学校	その他
R6	1	9



水害ハザードマップを活用した出前講座

- ・水害ハザードマップを活用し、地域の災害リスクを知ってもらう



災害図上訓練(DIG)

- ・災害を理解し、地域の被害をイメージする
- ・避難場所までの経路を確認する

東 広 島 市

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

土砂災害や洪水に対する円滑な避難行動や平常時からの防災意識の向上に活用するため、令和2年度に冊子版のハザードマップ(計画規模降雨)、令和4年度に町毎のA2判のハザードマップ(中小河川あり・想定最大規模降雨)を作成して全戸配布したほか、転入者に配布を行っている。

R2年度 冊子判 ハザードマップ

はじめに

災害が発生する前に、まず自分の住んでいるところの危険を想定し、日頃から様々な避難行動を想定して備えることが必要です。

このハザードマップは、各種気象現象、土砂災害、洪水、津波、地震に対する最大規模の災害時に発生し得る被害の想定範囲、各施設に対する危険箇所を調査する手法や方法に基づいて作成されています。もしもの時に備え、普段から目につく場所に保管しておくことが大切です。

なお、浸水想定される区域や、土砂災害の危険がある区域は、調査も調査や発掘しについての調査が行われています。インターネット等を利用して、最新の情報を確認するも併せてください。

日頃の備え

災害時の避難心得

- 災害はいつ起こるかわかりません。大抵は、日頃から準備することです。
- 人は自然の脅威に勝つていません。これに勝つたことはいくらもありません。高層や障害などにより災害時に自力で避難することが困難な方は、市町村が提供する避難所(避難所)に避難してください。

① 自宅(居る場所)が危険な場所か確認する

避難が必要なのは危険な場所に入ります。安全な場所に入ればその場にとどまるのが一番です。自分がいる場所にはどのような危険があるか、このハザードマップなどで確認してください。

② 避難について考える

避難とは、避難所に避難することではありません。例えば、浸水する深さが50センチメートルから5mの場所であれば、最初の階に上るだけでも十分避難になります。無理せず避難へ応ずるため、平時からの準備が不可欠です。入っている場所の状況や、自分の体質などから、どのように避難するのかをあらかじめ話し合っておきましょう。

1. 防災マップ等で自宅の危険な場所がない
 ● 自宅の中心部(壁など)に避難する
 ● 家具・家電品などに避難する

2. 防災マップ等で自宅の危険な場所がある
 ● 安全な場所に避難する
 ● 市町村が提供する避難所に避難する

③ 避難やそのタイミングを判断するための情報を確認する

避難を判断するための情報を確認して、指示に従って避難行動を行います。市が提供する避難情報には、警戒レベル3～5が示されています。警戒レベル3は、警戒レベル4より危険度が高くなります。避難情報は、気象情報をはじめとする様々な情報を総合的に判断して、早急に発信しています。避難情報の発表と合わせて、市が提供する避難情報を活用してください。必ず確認してください。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動見守り情報	気象情報	発表(02年まで)
5	気象発生 又は発生	車の危険 橋ちに安全確保 緊急避難準備	大規模特別警報	気象発生情報	気象発生情報
4	災害の おそれ高い	危険な場所から迅速避難 避難指示	土砂災害 警戒情報	避難所指定 避難所情報	避難所指定 避難所情報
3	災害の おそれある	危険な場所から迅速避難は要しない	高層特別警報	大規模警報	大規模警報

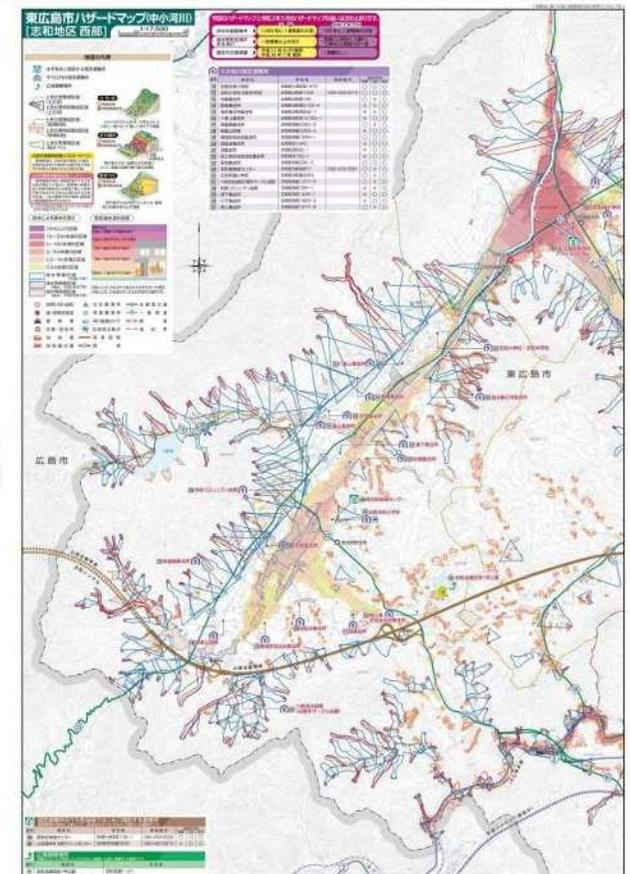
④ 避難をするためのものを準備する

大規模な災害が発生する上、避難一歩一歩の準備が不可欠なことではあります。避難をするための準備は、避難所での生活に必要です。避難所での生活に必要なものは、避難所での生活に必要なものを用意してください。

洪水・土砂災害ハザードマップ

東広島市

R4年度 A2判 中小河川ハザードマップ



⑧ 防災教育や防災知識の普及

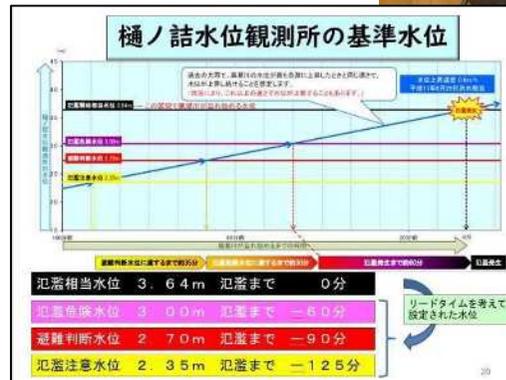
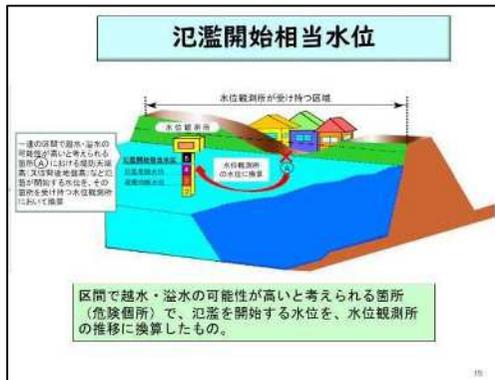
小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
R4	1	1	20
R5	2	1	19
R6	3	0	24



講座内容



講座の様子

①水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集、自主防災組織・企業等の参画を促すための広報を実施

HP(団員募集)

東広島市消防団紹介動画「あなたもなろう！地域のリアルヒーロー」

いいね! シェアする Xポスト

更新日：2024年02月29日

あなたも消防団に入団しませんか？

東広島市消防団では新規消防団員を募集しています。
この動画ではゲームをしている青年が、ゲームの中だけではなく、実際の社会でも役に立てる方法がないかと模索する中で「消防団」というリアルな世界に役割を見出していく様子をミニドラマ風に描いています。

以下のリンクから動画をご覧になれます。(Youtubeで公開)

[「あなたもなろう！地域のリアルヒーロー」\(外部リンク\)](#)

QRコードからも動画をご覧になれます。

この記事に関するお問い合わせ先

消防局 消防総務課 消防団係
〒739-0021
東広島市西条町助美1173番地1
電話：082-422-6621
ファックス：082-423-0363
メールでのお問い合わせ

HP(協力事業所表示制度)

東広島市消防団協力事業所表示制度

いいね! シェアする Xポスト

更新日：2024年07月17日

東広島市消防団協力事業所表示制度

東広島市消防団の活動に積極的に協力している事業所又はその他の団体を消防団協力事業所として認定することで、消防団及び協力事業所の連携及び協力体制を強化し、もって地域の消防防災力の充実強化等の一層の推進を図るための制度です。

消防団の活動に積極的に協力することで社会貢献を果たしている事業所に「消防団協力事業所表示証」を交付します。



2. 各構成機関の取組状況 （北部建設事務所管内）

三 次 市

⑧ 防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の防災教育・出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
R6	13	4	10



防災・減災のススメ
～災害が発生したとき、私たちは～

令和6年4月29日
三次市危機管理監危機管理課

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数 (規模)	訓練内容	時期
大規模洪水 想定訓練	市	国、県、市、協定先 要配慮者施設	約800人	ホットライン 情報収集・共有 情報発信 など	R6.5.29
排水ポンプ車 操作訓練	市	国、県、市 消防団、委託業者	約60人	操作手順確認	R6.6.3
避難所開設 訓練	自主防災組織 市	自主防災組織、 防災士、市、市民	約40人	避難所開設・ 運営訓練	R6.6.20



市 原 庄

- ③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知
- ④避難計画の作成・確認

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図を基にした水害ハザードマップを作成し、印刷物の配布、ホームページへの掲載等により住民等へ周知

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図や中小河川における洪水浸水想定区域図に基づき、市町の避難計画を見直し住民等へ周知

保存版

取り出しやすい場所に保管しておきましょう

庄原市 防災マップ

庄原地域版

市では、住民のみなさんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、「庄原市防災マップ」を作成しました。このマップを活用し、各家庭で災害に備えましょう。

発行 令和4年10月

庄原市 総務部危機管理課
広島県庄原市中華町一丁目10-1
TEL:0824-73-1111(代)

●いざというときの連絡先		火事・救急 119 警察 110	
機関名	電話番号	機関名	電話番号
庄原市役所(代電)	0824-73-1111	坂根駐在所	0824-72-3044
庄原消防署	0824-72-9911	春日駐在所	0824-79-2801
庄原警察署	0824-72-0110	高野駐在所	0824-72-3251
七塚駐在所	0824-73-0110	川北駐在所	0824-72-4067



地図から探す

地図を表示したい箇所をクリックしてください

防災ハザードマップ

- R4河川洪水想定区域(想定最大)
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域
- ヘリポート
- 指定緊急避難場所
- 要配慮者利用施設
- 病院(医療機関)

森林地域

- 森林地域

⑧防災教育や防災知識の普及

小学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	その他
R3	—	3回54人
R4	1回5人	14回266人
R5	1回19人	10回220人
R6	1回40人	18回305人

ひろしまマイ・タイムラインの作成支援

実施回数	参加人数
3回	約50人



④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数	訓練内容	時期
避難訓練	自主防災会	県・市・市民	約20人	各地区からの避難訓練	6月中旬



安芸高田市

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数	訓練内容	時期
向井原地域 防災セミナー	向井原地域振 興会自主防災	地域住民	地域住民37名 市職員1名	ハザードや危険箇所を考 慮した避難ルートの確認 (街歩き)	2024年10月18日



避難ルート検討



避難ルート確認

三次河川国道事務所

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

令和6年度江の川上流水害タイムライン 第1回検討会 ニュースレター

令和6年6月6日(木) 三次河川国道事務所及びWEB会議

令和6年度の出水期に備えて、タイムラインの運用や多機関連携がスムーズに行われるよう、江の川上流水害タイムライン(令和6年度版)に基づいて各機関の防災行動項目を確認しました。

■ タイムラインの概要・運用

新任担当者なども考慮し、出水期に円滑な出水対応の一助となるよう「江の川上流水害タイムライン<令和6年度版>」の概要及び運用について解説した。

■ 令和5年度の振り返りを踏まえた対応方針の確認

令和5年度の出水対応を踏まえた対応方針を説明し、各機関からの要望を踏まえたタイムラインの変更点やポータルサイトの活用方法を説明した。

テーマ	対応方針
1 出水対応・TL活用状況について	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度はタイムラインを活用する出水が無かったため、タイムラインと自機関マニュアルの整合を確認するための意見照会を実施 意見照会結果を踏まえて、タイムライン(令和6年度版)を作成
2 出水対応に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 出水時の対応を迅速に行うため、タイムラインレベル毎の対応を確認するための訓練を実施
3 ポータルサイトについて	<ul style="list-style-type: none"> マルチ画面お気に入り機能を活用したポータルサイトの有効活用方法を検討会で確認 水害リスクラインを用いた予測水位の収集方法を検討会で確認

■ 令和6年度に向けた確認

タイムライン訓練動画を用いて、レベル毎の状況を映像で見ながらイメージをした上で、各機関の主な防災行動項目をタイムライン詳細版にて確認した。



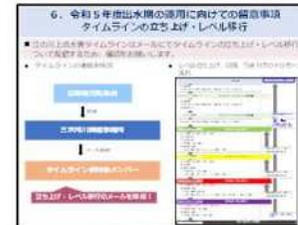
◆ 参加機関

出席：22機関(検討会構成機関：39機関)

三次市	三次警察署	備北交通株式会社
広島県水道広域連合企業団	安芸高田警察署	気象庁 広島地方気象台
安芸高田市	備北地区消防組合 消防本部	国土交通省三次河川国道事務所
広島県 土木建築局	安芸高田市 消防本部	国土交通省土師ダム管理所
広島県 北部建設事務所	中国電力ネットワーク(株)	国土交通省浜田河川国道事務所
老人ホーム水明会	西日本電信電話(株)	座長 広島大学 井上 准教授
三次市社会福祉協議会	西日本高速道路(株)	
広島県警察本部	西日本旅客鉄道(株)	

■ 運用に向けての留意事項

タイムラインを運用する上での留意事項やポータルサイトを共有した。



座長：広島大学 井上 准教授

- ・ 昨年は大きな出水が無かったが、いつ大きな出水があるか分からない状況である。
- ・ タイムラインポータルサイトや、水害リスクラインにおける予測水位等を活用し、出水時には防災情報を確実に収集していただきたい。

まとめ

- ・ 自機関のマニュアルと本タイムラインの整合性を確認し、機関内で実施する項目や手順等も確認する。
- ・ 出水対応中は本検討会で確認した各機関の主な防災行動項目や、タイムライン運用上の留意点に留意する。
- ・ ポータルサイトを活用し迅速な情報収集に役立てる。

気象台

⑥ 住民の避難行動を支援する防災情報の提供・周知

・「防災気象情報の伝え方に関する検討会」の提言を受けた防災気象情報の改善及び提供

令和6年度は以下の事項について実施

- ・線状降水帯による大雨について半日程度前から府県単位での呼びかけを開始

線状降水帯による大雨について 半日程度前から**府県単位**での呼びかけを開始

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」… 段階的に**対象地域を狭めていく**

令和3(2021)年
線状降水帯の発生を
お知らせする情報
(令和3年6月提供開始)



線状降水帯の雨域
を楕円で表示

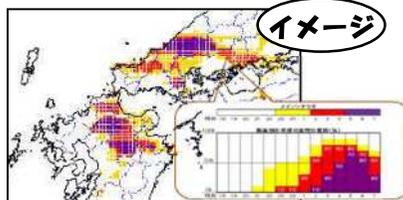
令和4(2022)年～
広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和6年度の新たな運用
令和6(2024)年5月27日～
府県単位で半日前から予測

次期静止
気象衛星
令和11年度
運用開始予定



令和11(2029)年～
市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



令和5(2023)年～
最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～
2～3時間前を目標に
発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」… 段階的に**情報の発表を早めていく**

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく